

2021年6月15日


日本初となるカーボンニュートラル都市ガスプランの 第三者検証報告書の受領について

東京ガス株式会社
広報部

東京ガス株式会社（社長：内田 高史、以下「東京ガス」）は、このたび、2019年度および2020年度のカーボンニュートラル都市ガス（以下「CN都市ガス」）プランの運用状況について、国際的な基準を参照した第三者による検証（以下「本検証」）を受け、算定ルールに準拠し適正であるとの見解をいただき、検証報告書を受領しました。なお、CN都市ガスプランの運用状況に関する第三者検証報告書の受領は日本初となります。

CN都市ガスは、燃焼させても地球規模ではCO₂が発生しないとみなされ、世界的な脱炭素化の潮流の中、現在の技術では短期的な脱炭素化が困難な熱分野における実行可能な手段として、ESG経営を意識されるお客さまからご関心をいただいております。東京ガスは、CN都市ガスプランの客観的な評価を通じてお客さまからのCN都市ガスの信頼性をより一層高めるために、本検証を受けました。

< CN都市ガスプランの第三者検証報告書 >

	発行日: 2021年6月3日 第181100415-1号
東京瓦斯株式会社 2019-2020年度カーボンニュートラル都市ガスメニュー 検証報告書	
東京瓦斯株式会社 様	
1. 検証対象 一般財団法人日本品質保証機構（以下、「当機構」という。）は、東京瓦斯株式会社で作成した「カーボンニュートラル都市ガス算定ルール」（以下、「算定ルール」という。）に基づく2019年度及び2020年度のカーボンニュートラル都市ガスメニュー（以下、「CN都市ガスメニュー」という。）の算定及び運用状況について、第三者検証を実施した。2019年度とは2019年4月1日から2020年3月31日までの期間をいい、2020年度とは2020年4月1日から2021年3月31日までの期間をいう。 本業務の目的は、CN都市ガスメニューの算定及び運用状況を客観的に評価し、CN都市ガスメニューの信頼性をより高めることにある。	
2. 検証概要 当機構は、GHGプロトコルの推奨事項並びに「カーボンニュートラリティ実証のための仕様」（PAS2060:2010）を参照し、ISO14064-3及びISAE3000に準拠して検証手続きを実施した。検証対象範囲はCN都市ガスメニューで販売する都市ガスのLCI(Life Cycle) CO ₂ 排出量、CN都市ガスメニューのために償却されたクレジット量、2019年度及び2020年度にCN都市ガスメニューで販売された都市ガス量である。LCOO: 排出量とは、原料ガスの採掘～都市ガスの燃焼までの過程で排出されたCO ₂ 排出量のこと。保証水準は「暫定的保証水準」、重要性的量的判断基準は総排出量及び販売量の5%とした。検証手続きでは、現地検証に先立って、まず算定ルールにおけるCN都市ガスのLCOO、排出量算定のバウンダリ、算定体制を確認した。次に東京瓦斯株式会社にて、LNG購入量、LPG添加量、LCOO: 排出量の算定過程、CN都市ガスのために償却されたクレジット量、CN都市ガスメニューの販売量について根拠資料と突き合わせを行った。現地検証は、東京瓦斯株式会社の袖ヶ浦LNG基地及び鶴島LNG基地を対象とし、各拠点における都市ガス製造範囲、熱損失フロー、荷役量確定の流れ、算定集計体制について、担当者へのヒアリング、記録の確認、現地状況の確認を行った。	
3. 検証の結論 検証の対象とした、東京瓦斯株式会社でCN都市ガスメニューで販売する都市ガスのLCOO: 排出量、CN都市ガスメニューのために償却されたクレジット量、そして2019年度、2020年度のCN都市ガスメニューで販売した都市ガス量において、「算定ルール」に準拠せず正しく算定されていない事項は発見されなかった。	
4. 留意事項 CN都市ガスメニューの算定及び運用責任は東京瓦斯株式会社にあり、本検証業務に関する責任は当機構にある。東京瓦斯株式会社と当機構との間には、特定の利害関係はない。	
東京都千代田区神田須田町一丁目25番地 一般財団法人日本品質保証機構 理事 浅田 純 男	

第三者検証報告書

本検証は、国内温室効果ガス（GHG）排出量の検証機関である一般財団法人日本品質保証機構が、第三者として、GHG プロトコル*¹の推奨事項並びに「カーボンニュートラリティ実証のための仕様」（PAS2060:2010）*²を参照し、ISO14064-3*³及び ISAE3000*⁴に準拠して検証手続きを実施したものです。

東京ガスは、今回の検証報告書受領を踏まえ、2019年度および2020年度にCN都市ガスをご利用いただいたお客さま6社に対し、CN都市ガス供給証明書を順次発行します。

<東京ガスが発行するCN都市ガス供給証明書>



東京ガスグループは、経営ビジョン「Compass2030」において、東京ガスグループの事業活動全体で、お客さま先を含めて排出するCO₂をネット・ゼロにすることに挑戦することを掲げています。CN都市ガスをはじめさまざまなソリューションの提供により、お客さまとともに地球規模での環境負荷低減への取り組みをこれからも推進してまいります。

<CN 都市ガス>

CN 都市ガスは、天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスを、CO₂ クレジットで相殺（カーボン・オフセット）し、燃焼しても地球規模では CO₂ が発生しないとみなす LNG (CNL) を活用したものです。東京ガスが 2019 年に輸入を開始し、CN 都市ガスとして日本で初めてお客さまに供給を開始しました。なお、対象となる CO₂ クレジットは、信頼性の高い検証機関が世界各地の環境保全プロジェクトにおける CO₂ 削減効果を CO₂ クレジットとして認証したものです。

CNL ロゴ



* 1 : 国際的に認められた温室効果ガス排出量の算定と報告の基準

* 2 : 英国規格協会が定めた公開仕様書

* 3 : 国際標準化機構（ISO）が定めた GHG 算定の妥当性確認・検証に関するルールを定めた仕様・手引き

* 4 : 国際会計士連盟の定めた非財務情報全般の監査に用いられる基準

以上